

03 県内唯一の公立の芸術高校  
千葉県立松戸高等学校



2004年に千葉県内の公立校で唯一の芸術科が開設された県立高校です。普通科の生徒でも芸術科の専門科目を学ぶことができ、学校全体で芸術文化の感性を高め、芸術に親しむ「豊かな心」を育める教育課程になっています。校内の渡り廊下などはギャラリー化していて、生徒たちの美術作品を多く展示しています。



松戸市社会教育委員  
奈賀 綾子さん

演劇部も強豪で、8年連続で関東大会に、2年連続で全国大会に出場しています。2019年に100周年をむかえた歴史ある高校です。

04 徳川家もお気に入りの松戸の景色  
戸定が丘歴史公園と富士山

1884年に水戸徳川家第11代当主の徳川昭武(あきたけ)の別邸として建てられた戸定邸とその庭園を含む旧松戸徳川家の敷地が、戸定が丘歴史公園です。高台の土地にあることから眺望が良く、松戸市街や江戸川等を望むことができます。戸定邸から望める富士山は、「関東の富士見百景」に選ばれています。



八嶋商店  
八嶋 正典さん

地元では良く囁かれる『水戸様はこの眺めが良くて、家を建てたんだ』という話が納得できる景色があります。昔は建物もまばらで今よりも空が広がったので、夕焼け空は絶景だったのでは。



ラジオボワロ  
寺田 一彦さん

幻の将軍、徳川昭武公がこだわって造った庭園はおススメ。自分を空っぽにしたときに訪れて、ぼーっとするだけで、気分転換になります。

05 市街地のだ真ん中の里山自然  
21世紀の森と広場



市街地のだ真ん中にありながらも、広大な芝生広場に加え、昔からある里山風景や森林、湿地帯が残る自然尊重型の公園です。約50haの面積で、みどりや野鳥等の自然とふれあいながら散歩できるほか、芝生広場やBBQ場もあるので、様々なアクティビティで楽しむことができます。オオハクチョウが渡来する年もあり、運がよければ珍しい動物たちにも出逢えるかも。1993年の開園以来、毎年約60万人の方が来園しています。



NPO法人さま  
石川 静枝さん

四季折々の変化が見られるのが魅力です。普段の生活からちょっと離れたい時に行くと、非日常を感じられます。



まっどい  
おこめのいえ手創り市  
篠澤 史子さん

子どもと一緒にのんびりのびのびできる公園で、お弁当持ってピクニックにもぴったりです。思いっきり走れる広場や森、池などの様々なエリアがあります。素敵な音楽が聴けるイベントもあります。

「まっどやさしい暮らしラボ」のメンバーが着目する  
まっど暮らしのあれこれ

まっど暮らしを充実させてくれているスポットやモノコトを、「まっどやさしい暮らしラボ」のみなさんから教えていただきました。

01 春の松戸は特別です  
さくら祭り

松戸のまちには、6つの「さくら通り」に加え、坂川沿いの河津桜、東漸寺のしだれ桜、新坂川緑道の桜並木など、春の桜の開花を楽しめるスポットがあります。桜の開花時期に合わせて、市内のあちこちではさくら祭りが開催され、春の松戸は賑わいます。



ラジオボワロ  
上條 榮子さん

松戸では、3月開催の『松戸宿坂川河津桜まつり』を皮切りに、1カ月近く、桜の花と賑わいを楽しむことができますので、春は特別です。

『六実桜まつり』に、バンド演奏で参加したことがあります。六実のさくら通りは幅が広くてゆったりとしていて、その両側にずらっと屋台が並んでいました。花びらの風がそよぐ中、地元の方々が温かく賑わっている様子をステージ上から眺めて、とても心地よかったのを覚えています。



あじさいねぎ農家  
秋山 尚文さん

02 採りたての地元農産物が身近に  
農家による野菜等の直売

矢切ねぎ、あじさいねぎ、梨、枝豆、新松戸レモンをはじめとした様々な農産物が松戸にはあります。市街地でたくさんの方が農業を営んでおり、直売所や軒先販売を数多く見かけます。季節折々のものやスーパーでは見慣れない珍しいものまで、新鮮な野菜や果物等が身近で、容易に手に入れることができます。



石井農園  
石井 寛茂さん

市内の至る所の農家さんが軒先での直売も行っています。農家さんによって、それぞれの特色があるので、面白いですよ。



みのり台駅近くの土屋農園や千駄堀にある香取神社付近の直売所、千葉県立松戸高等学校の正門近くの直売所をよく利用しています。新鮮な野菜がお得です！土屋農園さんでは6月中旬頃からブルーベリー狩りができます！



学校法人いわはま学園  
北部幼稚園  
山口 恵理子さん

